

転がり軸受

Rolling Bearing

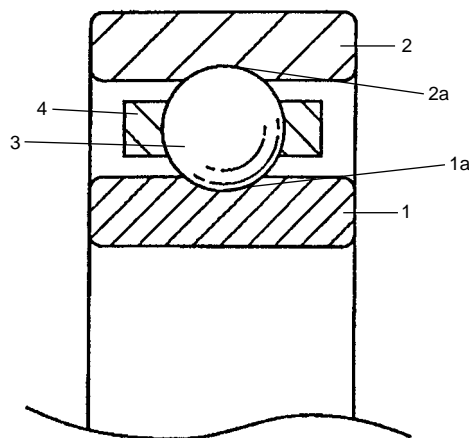
公開番号 特開平11-223220号

発明者 北村和久, 竹林博明, 服部智哉

< 発明の要旨 >

高速回転とグリースの長寿命化という条件を満たしながら、振動、騒音を低減できるハードディスクドライブのスピンドル用転がり軸受。

玉3はヤング率250GPa以下のジルコニアを主成分とするセラミック材料で形成する。上記セラミック材料のジルコニア含有量は80重量%以上である。上記セラミック材料はHIP焼結されている。上記玉3はヤング率が低いので、転動体と軌道輪の接触面圧を低くすることができる。そのため、軸受の振動および騒音が低くなる。また、HIP焼結されているので、耐久性が良い。



プーリユニット

Pulley Unit

公開番号 特開平11-230314号

発明者 田仲康人, 内村義人

< 発明の要旨 >

一方向クラッチを内蔵するエンジン補機用のプーリユニットにおいて、部品点数および組立工数を削減し、コストの低減と組立精度の向上を図った技術。

一方向クラッチ3の外輪11の軸方向両端を延長し、この延長部分11a, 11bを転がり軸受4, 4の外輪としている。この一方向クラッチ3の外輪11の両延長部分11a, 11bの内周面には、それぞれ転がり軸受4, 4の転動体22, 22の軌道となる軌道溝(符号省略)が形成される。このように転がり軸受4, 4の外輪を省略することにより、部品点数および組立工数を減らすとともに、外側環体1と転がり軸受4, 4との間での嵌合部分を減らすようにしている。

